



解禁日時	ラジオ・テレビ インターネット	令和5年7月31日（月）17:00解禁
	新聞	令和5年8月1日（火）朝刊から

岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和5年7月27日（木） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
義務教育課	小中教科教育係	加藤 尚子 藤井 英隆	内線 8588
			直通 058-272-8742
			FAX 058-278-2817

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

### 記

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査の対象学年（以下の学年の原則として全児童生徒を対象）

- ・小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

### 3 調査の内容

#### (1) 児童生徒に対する調査

- ・教科(小学校：国語、算数 中学校：国語、数学、英語)に関する調査
- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

#### (2) 学校に対する調査

- ・学校における指導方法に関する取組や教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

### 4 調査日 令和5年4月18日（火）

### 5 岐阜県において調査を実施した学校数・児童生徒数（公立学校）

	市町村(組合)立 小・中学校	市村立 義務教育学校	県立 特別支援学校	計	対象児童生徒数
小学校調査	347	5	5	357校	約16,530人
中学校調査	172	5	6	183校	約16,061人

※「学校数」には、国立と私立の小・中学校は、県全体の集計に入らないため含んでいません。

※義務教育学校については、前期課程を小学校、後期課程を中学校として計上しています。

※県立特別支援学校については、小学部を小学校、中学部を中学校として計上しています。

※児童生徒数は調査内容により、参加した人数が異なるため、「約」としています。

## II 岐阜県における調査結果

### 1 児童生徒の学力の状況について

#### (1) 平均正答率

- ・ 小学校では、「国語」「算数」とともに、全国の平均正答率を下回っている。
- ・ 中学校では、「国語」「数学」「英語」の全ての教科において、全国の平均正答率を上回っている。

教科	小学校		中学校	
	岐阜県	全国	岐阜県	全国
国語	65	67.2	71	69.8
算数・数学	60	62.5	53	51.0
英語			48	45.6

※県の平均正答率については、文部科学省から整数値で提供を受けています。

#### (2) 平均正答率の推移

- ※ 県の平均正答率は、文部科学省から整数値で提供を受けているため、岐阜県と全国との差の値は算出していません。
- ※ 平成31年度以降、A問題（知識）とB問題（活用）という区分がなくなり、知識・活用を一体的に問う調査問題に変更されました。
- ※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止になりました。

##### ① 小学校第6学年

- 【国語】 平成28年度以降、全国の平均正答率に近い数値で推移していたが、平成31年度から全国の平均正答率を下回っている。
- 【算数】 平成21年度以降、全国の平均正答率を下回る数値で推移している。

教科		H29		H30		H31		R3		R4		R5	
		岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国
国語	A	74	74.8	72	70.7	63	63.8	63	64.7	64	65.6	65	67.2
	B	58	57.5	56	54.7								
算数	A	77	78.6	63	63.5	65	66.6	69	70.2	61	63.2	60	62.5
	B	45	45.9	51	51.5								
理科				61	60.3					63	63.3		

##### ② 中学校第3学年

- 【国語】 本調査実施当初以降、全国の平均正答率と同程度またはそれを上回る数値で推移している。
- 【数学】 本調査実施当初以降、全国の平均正答率を上回る数値で推移している。
- 【英語】 前回の平成31年度と同様、全国の平均正答率を上回っている。

教科		H29		H30		H31		R3		R4		R5	
		岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国
国語	A	79	77.4	76	76.1	75	72.8	65	64.6	70	69.0	71	69.8
	B	74	72.2	62	61.2								
数学	A	66	64.6	67	66.1	61	59.8	59	57.2	53	51.4	53	51.0
	B	50	48.1	49	46.9								
理科				68	66.1					52	49.3		
英語						57	56.0					48	45.6

## 2 児童生徒の意識について【児童生徒質問紙調査から】

- ・ 主体的に取り組む学習や、友達と話し合っ自分の考えを深めたり広げたりする学習が、中学校ではより推進されている。
- ・ 自分と違う意見について、考えるのを楽しんでいる児童生徒の割合は、全国平均よりやや少ない。
- ・ 自分のよさを自覚している児童生徒の割合は、昨年度より増加している。
- ・ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合は、全国平均より高い。
- ・ 授業でICT機器を「ほぼ毎日」使用する割合は、昨年度に比べて増加し、全国平均より高い。
- ・ 学習の中でICT機器を使うことは、勉強の役に立つと感じている児童生徒の割合が高く、全国平均より高い。

※ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)

※ 下段( )は令和4年度の数值。( )がないものは令和4年度の実施はなし。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	79.8 (79.0)	78.8 (77.3)	1.0 (1.7)	85.2 (84.5)	79.2 (79.2)	6.0 (5.3)
学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	81.5 (80.2)	81.8 (80.1)	▲0.3 (0.1)	82.4 (81.0)	79.7 (78.7)	2.7 (2.3)
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	76.1 (72.3)	76.5 (73.5)	▲0.4 (▲1.2)	77.3 (76.5)	77.6 (76.9)	▲0.3 (▲0.4)
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	94.2	93.0	1.2	91.9	88.9	3.0
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	91.1 (88.2)	89.8 (87.1)	1.3 (1.1)	90.5 (89.9)	87.3 (86.6)	3.2 (3.3)
自分には、よいところがあると思いますか。	84.5 (79.9)	83.5 (79.3)	1.0 (0.6)	81.4 (80.4)	80.0 (78.5)	1.4 (1.9)
将来の夢や目標を持っていますか。	80.5 (79.3)	81.5 (79.8)	▲1.0 (▲0.5)	66.6 (67.1)	66.3 (67.3)	0.3 (▲0.2)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。(R4:何をすべきか考えることがありますか。)	79.0 (52.0)	76.8 (51.3)	2.2 (0.7)	68.2 (43.6)	63.9 (40.7)	4.3 (2.9)

質問事項	小学校			中学校			
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差	
5年生までに(中:1、2年生のときに)受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。	①ほぼ毎日	34.2 (31.2)	28.2 (26.7)	6.0 (4.5)	50.5 (38.9)	28.1 (21.6)	22.4 (17.3)
	②週3回以上	34.9 (34.1)	34.2 (31.5)	0.7 (2.6)	29.5 (33.2)	33.0 (29.3)	▲3.5 (3.9)

※ 「役に立つと思う」「どちらかといえば、役に立つと思う」と回答した児童生徒の割合(%)

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	95.9 (95.3)	95.1 (94.4)	0.8 (0.9)	95.2 (94.6)	93.3 (92.6)	1.9 (2.0)

### 3 各学校における取組状況について【学校質問紙調査から】

- ・ 全国学力・学習状況調査の結果等を活用し、教育課程の改善を図るPDCAサイクルを確立している学校の割合は、小・中学校ともに9割を超えている。
- ・ 学習評価の結果を、教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけている学校の割合は、小・中学校ともに9割を超えている。
- ・ 小・中学校ともに、ICT機器を授業で「ほぼ毎日」活用している割合が高い。
- ・ ICT機器を不登校児童生徒への学習活動等の支援や、特別な支援を要する児童生徒への学習活動等の支援に活用する割合が昨年度より高くなっている。

※ 「よくしている・よく行った」「どちらかといえば、している・どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合(%)

※ 下段( )は令和4年度の数值。( )がないものは令和4年度の実施はなし。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。	98.6 (97.2)	96.2 (94.2)	2.4 (3.0)	97.3 (97.8)	95.2 (93.3)	2.1 (4.5)
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、児童(生徒)の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かすことを心がけましたか。	91.9	90.3	1.6	98.9	96.2	2.7
言語活動について、国語科を要として、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか。	95.8	95.6	0.2	95.7	93.4	2.3

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
前年度に、大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか。	①ほぼ毎日 91.6 (88.3)	72.7 (67.2)	18.9 (21.1)	79.8 (81.4)	71.8 (68.4)	8.0 (13.0)
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業でどの程度活用しましたか。	①ほぼ毎日 75.6 (72.1)	65.2 (58.2)	10.4 (13.9)	80.9 (78.5)	62.6 (55.5)	18.3 (23.0)

※ 「児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について以下のような用途でどの程度使用しているか。」という質問に対して「ほぼ毎日・週3回以上・週1回以上」と回答した学校の割合(%)。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援	47.9 (42.5)	43.0 (37.6)	4.9 (4.9)	58.4 (48.6)	54.5 (41.9)	3.9 (6.7)
特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援	67.6 (52.5)	67.2 (51.6)	0.4 (0.9)	65.6 (55.3)	63.1 (46.5)	2.5 (8.8)

### Ⅲ 本調査結果を踏まえた岐阜県教育委員会の取組み

- 児童生徒がそれぞれに夢を持ち、自らの可能性に挑戦できるよう「キャリア教育」を支援するとともに、「岐阜県ふるさと教育表彰」や「水と森に学ぶ推進事業」等を通じて、地域創生やふるさとの活性化のための課題解決的な学習が充実するよう支援する。
- 小学校を対象とした算数のクラウド教材「NEW! GIFUウェブラーニング」を活用し、システム内のスタディログに基づいた教師の指導改善や児童の学習改善等の開発を担う「データ利活用推進校」への支援、「ICT活用モデル構築推進事業」における各地区の実践フィールド校への支援を行うとともに、これらの実践に学ぶ研修会の実施、成果刊行物の発行、ホームページへの掲載等を通じ、ICTを有効に活用した新たな学びの普及・啓発を図る。
- 本県の課題を踏まえた「指導改善資料」を作成し、各市町村教育委員会を通じて、小中学校に配布する。また、地区ごとに「学力向上推進会議」を開催して学習指導の改善を促すとともに、令和5年度から取り組む「『指導と評価の一体化』による学習評価の充実・推進事業」における各地区リーディング・スクールの実践研究を支援し、児童生徒が学ぶ喜びを実感しながら知識や技能、思考力や判断力を高めていける授業づくりのモデルとなる取組みを創出する。

#### 教育長コメント

県教育委員会としては、小学校段階から、自己肯定感を育み、誰一人取り残すことなく寄り添う教育を大切にしています。今後もこうしたよさを生かしながら、課題となっている点の改善に資する取組みを進めてまいります。

また、子供たちの「人の役に立ちたい」「地域や社会のために何かしてみたい」という願いを後押しすべく、市町村教育委員会と連携し、自立する力や共生する力、自己実現する力が身に付く施策を充実させていきたいと考えております。

参考資料

教科に関する調査問題（例）と結果

1 よくできていた問題及び課題がみられた問題の例

(1) 国語

① よくできていた問題の例

■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 大問2-1

■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 大問1-4

問題の概要		正答率
<p>小学校 国語 2-1</p>	<p>○ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【資料1】運動について書かれた本の一部</p> <p>運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと考えられています。私たちは日々行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくましく筋肉を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで生活の中に自分好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【資料2】運動で健康な体をつくらう！</p> <p>運動には、脂肪や筋肉などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気分がリフレッシュするなどの効果もあります。</p> <p>どんな運動をするとい好呢？</p> <p>運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、飛躍運動などの瞬発力を高める運動があります。そのほかにも、体のあらゆる部分を鍛える運動や、たくましく動きを高める運動などがあります。</p> <p>このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の休遊び、犬の散歩、階段の上り下り、電車通勤などです。日常生活の中で体を動かす機会をつくらうと効果的です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>主に持久力を高める運動の例</p>  <p>軽いジョギング</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>主に瞬発力を高める運動の例</p>  <p>跳び箱(跳けて遊ぶ)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>主に筋力を高める運動の例</p>  <p>腹筋運動</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>筋力を高める運動の例</p>  <p>腕立て伏せ</p> </div> </div> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>相田さんが選んだ【資料1】と【資料2】に書かれている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動の効果や種類</li> <li>2 運動の回数や場所</li> <li>3 運動の場所や種類</li> <li>4 運動の効果や回数</li> </ol> </div>	<p>岐阜県：89.2%</p> <p>全国：90.0%</p> <p>全国差：-0.8</p>
<p>中学校 国語 1-4</p>	<p>○ 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。</p> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>【インタビューの様子】</p> <p>星野さん：「社会で働く上で大切なこと」を星野さんに伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>条件1 【インタビューの様子】から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。</p> <p>条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。</p> </div>	<p>岐阜県：85.3%</p> <p>全国：82.5%</p> <p>全国差：+2.8</p>

② 課題がみられた問題の例

■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 大問1二

■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 大問1二

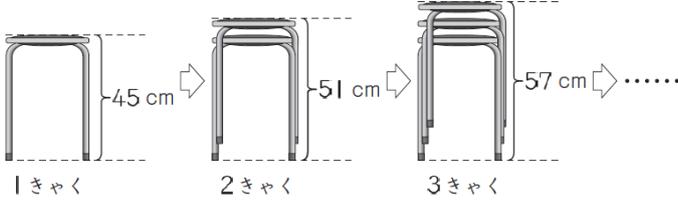
問題の概要		正答率															
<p>小学校 国語 1二</p>	<p>○ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。</p> <p>【川村さんの文章】</p> <p>学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法</p> <p>今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。</p> <p>5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、<u>うい</u>がいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと<u>くらべて</u>みました。<u>めさ</u>さんは7月1日から15日までです。</p> <p>右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。</p> <p>農家の田んぼで学校の田んぼの雑草の量</p> <table border="1"> <caption>農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量</caption> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>農家の田んぼの雑草の量</th> <th>学校の田んぼの雑草の量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月1日</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7月5日</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7月10日</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7月15日</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○が6月1日の雑草の量と同一大きさの1マスにのみ、その雑草の量を記入する。</p> <p>このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。</p> <p>川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の <input type="text"/> に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、<input type="text"/> に入る内容をどのように書きますか。<u>あとの条件に合わせて</u>書きましょう。</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。</li> <li>○ 問題点の解決方法については、【カード⑤】をもとにして書くこと。</li> <li>○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。</li> </ul>	日付	農家の田んぼの雑草の量	学校の田んぼの雑草の量	7月1日	2	1	7月5日	3	1	7月10日	4	1	7月15日	5	1	<p>岐阜県：26.4%</p> <p>全国：26.7%</p> <p>全国差：-0.3</p>
日付	農家の田んぼの雑草の量	学校の田んぼの雑草の量															
7月1日	2	1															
7月5日	3	1															
7月10日	4	1															
7月15日	5	1															
<p>中学校 国語 1二</p>	<p>○ 意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。</p> <p>〈インタビューの目的〉</p> <p>星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。</p> <p>〈インタビューを通して知りたいこと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。</li> <li>②「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。</li> <li>③ 社会で働く上で何が大切だと思うか。</li> </ul> <p>製品開発にかける思い</p> <p>電化製品を開発するに当たって、最も大事にしているのは、安全性です。お子様からお年寄りまで、どの年代の方も安心して使用できる製品の開発を常に心がけています。しかし、安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています。</p> <p>現在、私は、電気ケトルの開発を担当しています。電気ケトルは、容量が小さく、使う分だけ短時間でお湯を沸かせるのが特徴で、弊社の製品の中でも御好評をいただいているものの一つです。安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しいことですが、よりよい製品をお届けできるように努力を重ねています。</p> <p>南さんが【インタビューの前に準備したメモ】に <u>線部①</u> 『安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい』と考えるのはどうしてか。」と書いたのは、【インターネットの記事】のどのような点に気付いたからだと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事例は示されているが、星野さんの考えとは内容が矛盾している点。</li> <li>2 事例は示されているが、星野さんの考えが書かれていない点。</li> <li>3 星野さんの考えは示されているが、その理由が書かれていない点。</li> <li>4 星野さんの考えと理由は示されているが、理由として不十分である点。</li> </ol>	<p>岐阜県：64.2%</p> <p>全国：65.1%</p> <p>全国差：-0.9</p>															

## (2) 算数・数学

## ① よくできていた問題の例

■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 大問1(1)

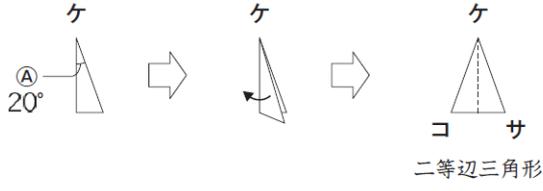
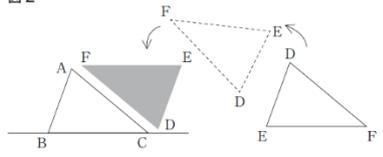
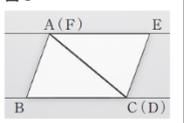
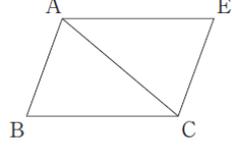
■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 大問2

	問題の概要	正答率												
小学校 算数 ①(1)	<p>○ 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる。</p> <p>1きやくのいすの高さは、45 cm です。 下のようにいすを重ねていくと、高さが変わります。</p>  <p>いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。</p> <table border="1" data-bbox="383 996 1045 1064"> <thead> <tr> <th>いすの数 (きやく)</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高さ (cm)</td> <td>45</td> <td>51</td> <td>57</td> <td>63</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>表の中の A にあてはまる数を書きましょう。</p>	いすの数 (きやく)	1	2	3	4	5	高さ (cm)	45	51	57	63	A	岐阜県：91.9% 全 国：93.5%  全国差：-1.6
いすの数 (きやく)	1	2	3	4	5									
高さ (cm)	45	51	57	63	A									
中学校 数学 ②	<p>○ 数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる。</p> $12 \left( \frac{x}{4} + \frac{y}{6} \right)$ <p>を計算しなさい。</p>	岐阜県：82.5% 全 国：80.5%  全国差：+2.0												

② 課題がみられた問題の例

■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 大問2(3)

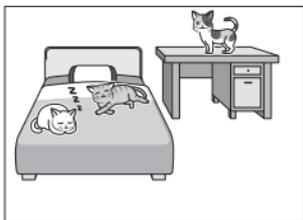
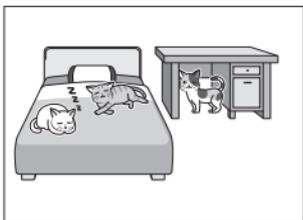
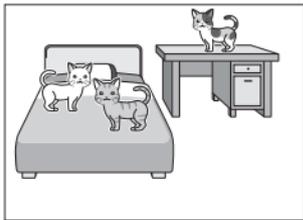
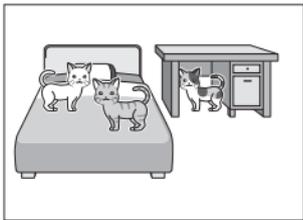
■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 大問9(1)

問題の概要		正答率
<p>小学校 算数 2(3)</p>	<p>○ 正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p> わたし、<math>\textcircled{A}</math>の角の大きさを<math>20^\circ</math>にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p> 私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、<math>\textcircled{A}</math>の角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>切って開いた三角形を正三角形にするには、<math>\textcircled{A}</math>の角の大きさを何度にすればよいですか。 答えを書きましょう。</p> </div>	<p>岐阜県：21.6% 全 国：24.9%  全国差：-3.3</p>
<p>中学校 数学 9(1)</p>	<p>○ ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる。</p> <p>方法1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◇ <math>\triangle ABC</math>を置いて、直線BCをひく。そして、<b>図2</b>のように、<math>\triangle DEF</math>を回して、点Fを点Aに、点Dを点Cに重ねる。</p> <p><b>図2</b></p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◇ <b>図3</b>のように、点Aと点Fが重なった点をAとして、直線AEをひく。また、点Cと点Dが重なった点をCとする。</p> <p><b>図3</b></p>  </div> <p>(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の<b>図6</b>をかきました。<b>図6</b>の<math>\triangle ABC</math>と<math>\triangle CEA</math>は、それぞれ<math>CA = CB</math>、<math>AC = AE</math>で、<math>\triangle ABC \cong \triangle CEA</math>です。</p> <p><b>図6</b></p> 	<p>岐阜県：35.3% 全 国：32.1%  全国差：+3.2</p>
<p><b>図6</b>において、<math>BC \parallel AE</math>であることは、すでにわかっている<math>\triangle ABC \cong \triangle CEA</math>をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。<math>BC \parallel AE</math>であることを証明しなさい。</p>		

## (3) 英語（「話すこと」調査を除く）

## ① よくできていた問題の例

## ■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 英語 大問1(1)

問題の概要		正答率
中学校 英語 1(1)	<p>○ 情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。</p> <p>話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。 (スクリプト) Look at this picture. There are three cats. You can see a cat under the desk. And the other cats are on the bed. They are sleeping.</p> <p>(1)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>1</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>2</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>3</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>4</p>  </div> </div>	岐阜県：81.0% 全国：79.0%  全国差：+2.0

## ② 課題がみられた問題の例

## ■令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 英語 大問10

問題の概要		正答率
中学校 英語 10	<p>○ 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。</p> <p>あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。</p>	岐阜県：8.4% 全国：7.4%  全国差：+1.0

2 特徴的な問題とその正答率

(1) 国語

令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 大問2 四

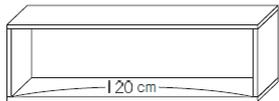
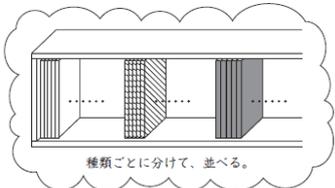
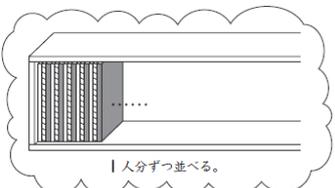
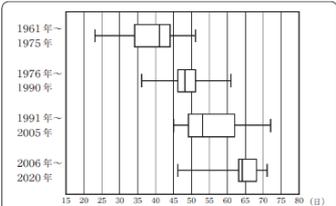
令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 大問2 四

問題の概要		正答率
<p>小学校 国語 2四</p>	<p>○ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【資料3】 相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ</p> <p><b>栄養素の働き</b></p> <p>規則正しく食事をするにより、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいららしたりします。</p> <p>食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。</p> <p>米やパンなどは、主に<b>エネルギーのもと</b>になります。肉や<b>魚</b>などは、主に<b>体をつくるもと</b>になります。<b>歯磨き粉</b>などは、けがが治りやすくなります。</p> <p>野菜や果物などは、主に<b>体の調子を整えるもと</b>になり、<b>病気にかかりにくく</b>なります。</p> <p>(栄養素の主な働きと食品の例)</p> <p>主にエネルギーのもとになる 米、パン、パスタなど</p> <p>主に体をつくるもとになる 肉、魚、牛乳など</p> <p>主に体の調子を整えるもとになる 野菜、果物など</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【資料2】 運動について書かれたパンフレットのページ</p> <p><b>運動で健康な体をつくろう!</b></p> <p>運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがりフレッシュするなどの効果もあります。</p> <p>どんな運動をするといいの？</p> <p>運動をする前、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、縄跳運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のよわよわさを高める運動や、たくさん動きを高める運動などがあります。</p> <p>このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休みの日の散歩、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくと効果的です。</p> <p>主に持久力を高める運動の例 軽いジョギング 縄とび(縄けて遊ぶ)</p> <p>主に筋力を高める運動の例 腹筋運動 縄立てみせ</p> </div> </div> <p>【資料1】 運動について書かれた本の一部</p> <p>運動は、体力の向上につながりますが、そのためには、子供からお年寄りまで適度に運動をする必要があります。運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさん汗をかくような運動や、長時間に大きな力を出すことで、筋肉を鍛える運動や、瞬間的に大きな力を出すことで、筋力や持久力を高める運動などがあります。また、運動によって気持ちがりフレッシュするなどの効果もあります。</p>	<p>岐阜県：55.3%</p> <p>全国：56.2%</p> <p>全国差：-0.9</p>
<p>相田さんは、【資料1】、【資料2】、【資料3】を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。</li> <li>○ 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。</li> <li>○ 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。</li> </ul>		
<p>中学校 国語 2四</p>	<p>○ 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【A】の文章 岸見一郎『本をどう読むか』 (約600字)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【B】の文章 小林秀雄「読書について」 (約700字)</p> </div> </div> <p>中山さんは、【A】や【B】の文章で述べられていることを参考にして、自分の本の読み方について考えました。あなたなら、これからどのように本を読んでいきたいと考えますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。</p> <p>なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。</p> <p>ア 【A】か【B】、またはその両方の文章から、自分が着目したところを抜き出しなさい。</p> <p>イ アを踏まえ、読書に関する経験や知識に触れながら、これからどのように本を読んでいきたいかを具体的に書きなさい。</p>	<p>岐阜県：71.3%</p> <p>全国：67.5%</p> <p>全国差：+3.8</p>

## (2) 算数・数学

令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 大問3 (2)

令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 大問7 (2)

問題の概要		正答率																																			
小学校 算数 3(2)	<p>○ 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>120 cm</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3種類のファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚さが1.4 cm</li> <li>・厚さが1.6 cm</li> <li>・厚さが2 cm</li> </ul> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>種類ごとに分けて、並べる。</p> <p>けんた</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1人分ずつ並べる。</p> <p>あやね</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>3種類のファイル23人分を全部並べた長さは、何cmですか。全部並べた長さの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。</p> <p>さらに、たなにファイルを全部並べて入れることができるかどうかを、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 入れることができる。</li> <li>2 入れることができない。</li> </ol> </div>	岐阜県：53.0% 全 国：56.7% 全国差：-3.7																																			
中学校 数学 7(2)	<p>○ 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。</p> <p style="text-align: center;">黄葉日までの経過日数の分布</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうですね。」</p> <p>啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」</p> <p>一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」</p> </div> </div> <div style="width: 50%;">  <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">経過日数(日)</th> </tr> <tr> <th>最小値</th> <th>第1四分位数</th> <th>中央値</th> <th>第3四分位数</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1961年～1975年</td> <td>23</td> <td>34</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>1976年～1990年</td> <td>36</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>1991年～2005年</td> <td>45</td> <td>49</td> <td>53</td> <td>62</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>2006年～2020年</td> <td>46</td> <td>63</td> <td>64</td> <td>68</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。</p> </div>		経過日数(日)					最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値	1961年～1975年	23	34	41	44	51	1976年～1990年	36	46	48	51	61	1991年～2005年	45	49	53	62	72	2006年～2020年	46	63	64	68	71	岐阜県：38.6% 全 国：33.6% 全国差：+5.0
	経過日数(日)																																				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値																																
1961年～1975年	23	34	41	44	51																																
1976年～1990年	36	46	48	51	61																																
1991年～2005年	45	49	53	62	72																																
2006年～2020年	46	63	64	68	71																																

## (3) 英語（「話すこと」調査を除く）

令和5年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 英語 大問8（2）

問題の概要		正答率
中学校 英語 8(2)	<p>○ 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I  could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。</p> </div>	岐阜県：21.9% 全国：19.5%  全国差：+2.4